

「伝統・文化」体感型ワークショップ 【実践編②】

「陶芸 — マイカップをつくろう！ —」（受講者 4 名）

授業者： 本山 愛（大阪府立箕面支援学校教諭）

実施日： 平成 22 年 10 月 25 日(月)

- =====
- 目的：・粘土の感触を楽しみながら、陶芸の基本的な技法を学ぶ。
・用途を考え、自分の好きなデザインを考える。

- 期待される効果：
・制作過程の互いの作品の良さを認め合う。

- 準備教材・設備等：
粘土、粘土板、てろくろ、そうきん、石膏型、切り糸、エプロン、竹串、なめし皮

- 授業の流れ（@2 時間×1 日）
- 前回の活動の振り返り、本時の活動の説明
（土台にひも状の粘土を積み、つなぎ目をなくしながら高くしていく。
難しい生徒は石膏型の周りにひもを積むようにする。）
- ↓
- 材料・道具の確認
- ↓
- 土台作り。ひもを作り、土台に積む。口元を薄くし、なめし皮をあて、滑らかにする。
ろくろから取り外し、底にサインする。
- ↓
- 片付け（各自、道具や手を洗って片付ける。机を拭く。）
- ↓
- 感想を聞く。

実践発表 — 「陶芸」 —

大阪府教育センター カリキュラム研究室 仲谷 浩

大阪府立箕面支援学校高等部では、以前より授業に陶芸を取り入れ、その作品は「モノレール展」としてモノレールの駅に展示発表している。今回、陶芸が専門である本山先生に夏の研修に参加いただき、さらにその成果を取り入れた授業を実践していただいた。ろくろやなめし皮等を使い陶芸の基本を学ぶことで、自然と伝統・文化に触れることができる授業内容であった。

■土台作り。ひもを作り、土台に積む。口元を薄くし滑らかにする。ろくろから取り外す。
土台作り（カップの大きさに合わせる）



■ひも作り



■土台に積む。口元を薄くし、なめし皮をあて、滑らかにする。



■ろくろから取り外す。カップ部分の完成。



■その後、素焼き完成

本焼き完成！

